

---

# うしろのともだち

榛 奈央

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

うしろのともだち

### 【Nコード】

N1799G

### 【作者名】

榛 奈央

### 【あらすじ】

高校に入って同じクラスになった飯野が好きな優。二年のクラス替えで同じクラスになりたい、離れたくないと思うほどに好きになっていく自分に気づく。

「優ちゃん！一組だよー。ミヤも！」

私が向かおうとしていた人垣の中から、佐奈が叫んだ。私ではなく隣にいた美弥子がガッツポーズをして、やったね。同じクラスだよ！と振り返って抱きついてきた。

出遅れた。

高校に入って初めてのクラス替え。私は自分で見たかった。

普段は検定や定期テストなんかの案内しか出していない掲示板に全クラスの新しいメンバーの名前が書いてある。掲示板に人が集まるのは年に一度。この日だけだと思う。

私が自分以外の名前を探したいのを二人は知らない。

きつとすぐに見つけられる。けどもう掲示板に興味を失った友達に引かれて私は歩き出していた。

いつものわたしなら人垣をかき分けようなんて思わない。自分の分までクラス替え表を見てくれた友達に素直に笑い返せる。

「いいな、私二組だよ。二年は修学旅行あるから絶対一緒になりたかったのに」

「隣じゃん。体育一緒だよ」

佐奈と美弥子の話にそうだね、なんて生返事をして辿り着いた教室に祈りながら入った。

同じクラスならいいな。同じクラスがいいな。

「優ちゃんまた出席番号一番じゃん。席一番前だよ」

言われて教室の一番前、廊下側の机に鞆を置くとすぐ近くの入り口ががらりと開いた。

「また相田かよ、今年も背の順、出席番号順、お前が一番前だな。」

何が入っているのか軽そうな鞆を私の後ろの席に彼が置いた瞬間、掲示板の前で美弥子が私にしてきたようにガッツポーズをしそうになった。

「相田が前だと隠れられねんだよな。一学期は居眠りできねえや。春休みで背伸ばしといて来てくれよ。お前入学式で見たときから変わってないぞ。」

「飯野のために背が伸びるわけないじゃない。」

軽口で返しながら去年の春を思い出す。初めて会った入学式の日、私の後ろの席に着いた彼の第一声は「ちっちや。」だった。

こんな失礼なやつはただのけんか友達になると思っていた。友達のままでいいと思っていたのに。

担任が入ってきて席に着くと、後ろを振り返る瞬間を待っている自分がある。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1799g/>

---

うしろのともだち

2011年1月1日00時16分発行